

統計から世界を見る、知る



平成27年採用
国際連合経済社会局統計部

小林 風花 KOBAYASHI FUKA



国連本部ビル(ニューヨーク)

より良いデータを目指して

私は現在、「持続可能な開発目標（SDGs）」の測定活動に寄与するとともに、国際統計に関する知見を得ることを目的に、国連統計部に派遣されています。SDGsは2030年までの達成を目指す国際的な開発目標であり、貧困や飢餓の撲滅、ジェンダー平等など幅広い分野を網羅しています。SDGsの達成のためには、世界各国が比較可能な統計データを整備して進捗状況を測定し、その結果を関連する政策立案に活用することが不可欠です。私は社会・ジェンダー統計セクションに所属し、ジェンダー統計分野を中心に、国際統計基準の策定、国際会議の開催、統計職員の能力開発支援などを通じて、各国の統計データの質や比較可能性の向上に取り組んでいます。

広がるフィールドと可能性

総務省は幅広い業務を所管しており、そのフィールドは海外にまで広がっています。私自身、地方支分部局で採用されてから、本省、他府省、そして現在の海外勤務と様々な職場に勤務し、行政相談や政策評価といった統計行政以外の業務も経験してきました。こんな仕事がしたいというはっきりとした方向性が決まっていなくても、総務省の多種多様な業務の中で、皆さんの強みや興味を活かせる場がきっと見つかるはずです。様々な面から日本の行政に関わりながら、自分の可能性を広げることも深めることもできる。それが総務省の魅力だと思います。

海外でも「日本の自治体」を思う



平成20年採用
自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐

阿久津 佑介 AKUTSU YUSUKE



休日は観光の街パリをいつも散歩しています

日本の自治体のための海外拠点

クレアパリ事務所の事業は、フランス国内において日本の地方自治体等が行財政制度の調査を実施する際の支援や情報収集、日本の伝統工芸品等の地場産品の販路拡大のきっかけとなる企画展の立案・実施、フランスの地方都市における日本の自治体のPR、日仏間の姉妹都市の連携強化、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）の広報活動など多岐に亘ります。赴任して約一年が経ち、日仏間では、言語はもちろんのこと、各種制度や文化の違いを背景として、仕事の進め方等に差異が存在する場合も当然にあり、「国際化」という業務の難しさを感じる場面も多々ありますが、それらを含め、海外生活での全ての経験が自分を一回り成長させてくれているように感じます。

活躍の場は海外にまで広がる

地方自治分野の職員のお多くは、「日本の自治体のために」という思いが強い方だと思います。私もその一人でした。入省以来、本省での地方税の企画立案業務や、長野県市町村課での業務を通じて、採用当時の思いをそのままに仕事に打ち込んでくれたのは、共に働く同僚の多くが、私と同じ気持ちで仕事に向き合っていると肌で感じたからです。活躍の場は、国内に留まりません。パリ事務所のほかにも、総務省の仲間が日本の自治体のためにシドニーやニューヨークで活躍しています。国内での業務を通じてまずは日本の自治体の行財政制度等の特色を学び、その知識を武器に海外において自治体の国際化業務に従事する、そんなキャリアアップはいかがでしょうか。

総務省からメキシコ、チリへ、そして・・・



在チリ日本国大使館二等書記官

川本 晃洋 KAWAMOTO AKIHIRO

デジタルハブを目指す南米の先進国

チリは、世界的な銅、リチウムの鉱物資源国で、ワイン、サーモンの生産大国として日本にも身近になりつつありますが、さらに南米地域の「デジタルハブ」を目指し、この分野でも南米を牽引する重要国となっています。そんな日本の裏側の国でデジタル分野の政策動向の調査や日本企業の活動支援を行っています。5Gや海底ケーブルなど日本の優れた先進技術への関心は高く、日本企業や総務省とともに、チリとの連携を日々模索しています。加えて、環境政策の調査や訪日観光促進など、総務省の分野以外も担当し貴重な経験を得ています。

夢中になれるものを探しませんか？

総務省の魅力は国内外問わず多様な活躍の場があることです。私も入省から10年様々な仕事に携わりました。

ネットの誹謗中傷が社会問題になれば、被害者救済の一助となる「発信者情報開示制度」を改正するため、未知の裁判制度の世界を勉強しました。ユーザーデータ管理を巡る問題で経済安保がメディアを賑わせれば、通信・ネット企業のガバナンス強化に向け、国内外の個人情報保護の専門家や企業から多くを学びました。巨大プラットフォームと粘り強く交渉する上司の姿が印象的でした。

多様な仕事に関わる中で一番心に残ったのは、中南米に日本の先進技術を普及させるべく奔走する上司の姿でした。いつかこうなりたいと強い憧れを抱いたのを覚えています。その希望に応えるように、スペイン語未学習の自分にメキシコ留学のチャンスをいただき、初めてラテン文化に触れ、そしていまチリにいます。入省時には想像もしていませんでした。

「将来何をしたいか」就活の中で誰もが考えることですが、なかなか想像できない人も多いのではないのでしょうか。総務省の幅広い仕事には入省前には思いもよらない面白い世界が広がっています。これからの10年さらに世の中は変わってほしい、その原動力は間違いなくデジタル分野の成長です。みなさんも総務省で夢中になれる何かを探してみませんか？

- 平成25年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
- 平成27年 5月 情報通信国際戦略局国際経済課
- 平成30年 5月 大臣官房秘書課
- 令和 元年 8月 メキシコ研修
- 令和 2年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課基幹通信係長
(総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政第二課併任)
- 令和 4年 4月 総合通信基盤局総務課法規係長
- 令和 4年 7月 育児休業
- 令和 4年10月 総合通信基盤局総務課総務係長
- 令和 5年 6月 現職

とある一週間

- 月曜日** 5G政策動向の調査。チリ通信省を訪問しヒアリングを実施。
- 火曜日** 地方出張。国際イベントで日本文化「折り紙」ワークショップ。
- 水曜日** AIの国際会議。東京に議論を報告するために会議を傍聴。
- 木曜日** 日本企業が来館。現状と今後のチリでの展開方を意見交換。
- 金曜日** 気候変動政策の調査。COP28に向けチリの報道等から情報収集。



折り紙を通じてチリの子供達と交流

PRIVATE TIME

休日は家族と観光に出かけます。近場の様々なワイナリーを訪問するのも楽しみです。何より南米は観光の宝庫。チリには、モアイ像のイースター島、世界一の星空が見えるアタカマ砂漠や氷河のパタゴニア。チリを飛び出せばマチュピチュ、ウユニ塩湖、イグアスの滝など。これから時間を見つけて訪問してみたいです。

